

2024

6.19 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_jDe2TMFiSg29ASp3XF0V8g

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

カーボンニュートラル社会の
実現とその先へ

司会：錢 琨 准教授 (Q-AOS コーディネーター)

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに9 産業と技術革新の
基盤をつくらう10 人や国の不平等
をなくそう11 住み続けられる
まちづくりを13 気候変動に
具体的な対策を

Key Words

温暖化対策

二酸化炭素

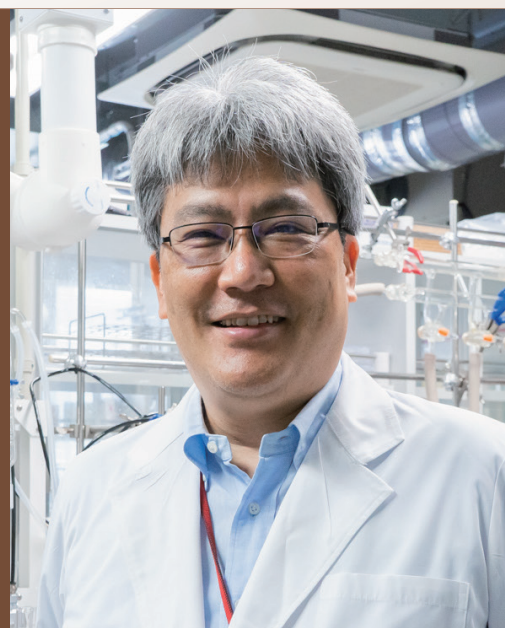
ネガティブエミッションテクノロジー

分離膜

炭素循環

藤川 茂紀 教授

九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所



九州大学で修士号および博士号を取得。日本学術振興会特別研究員として Yale 大学化学科にて分子認識化学に関する研究を行う。帰国後、理化学研究所にてナノ化学を軸に、各種ナノ材料の開発研究に従事し、副チームリーダー・チームリーダーを歴任する。2012年九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所に准教授として着任し、二酸化炭素を効率的に回収する分離ナノ膜の開発研究に取り掛かる。2020年より、内閣府が行うムーンショット型研究開発事業にプロジェクトマネージャーとして参画し、研究プロジェクトをリードしている。2021年より同研究所にて教授となり、特に近年では、分離膜を使って大気中から CO₂ を直接的に回収する研究活動を展開している。この活動を社会実装するため、九州大学と総合賞である双日株式会社から出資を受け、Carbon Xtract 者に CTO として参画している。

地球温暖化対策として、温室効果ガスである二酸化炭素 (CO₂) の排出抑制が不可欠ですが、既に大気中に放出された CO₂ の回収削減も大変重要な役割を担っています。国連気候変動に関する政府間パネルは、地球の平均気温上昇を 1.5°C 以下に抑える目標を設定していますが、これを達成するためには、実はすでに排出された CO₂ の回収を前提としています。このように大気から CO₂ を直接回収する技術をネガティブエミッションテクノロジー (NETs) といいます。今回のセミナーでは、世界各地で進行中の NETs について詳しく紹介し、これらの技術がどのように新しい社会構築に寄与できるのか、その可能性について深掘りします。